

中期経営計画2027

(2027年3月期から2029年3月期)

未来工業株式会社

証券コード：7931

1. 当社グループについて

2. 前中期経営計画（2024-2026）の振り返り

3. 中期経営計画2027

4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社グループの企業理念

「常に考える」



ユーザーの使い易い製品を提供

- 絶え間ない新製品の開発
- ユーザーへの迅速な対応
- 社員の自主性・創造性の重視
- 地域社会への貢献

当社グループ各社の基盤強化

- 当社を中心とした経営の効率化
- 各グループ企業の独自性を
生かした経営による継続的な
成長と収益の拡大

企業価値の最大化

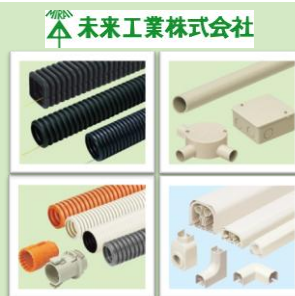
事業領域（セグメント）

製品・事業内容

電材及び 管材事業

売上比率
76.0%

- ・電線管類及び附属品
- ・配線ボックス類
- ・給水給湯用樹脂管類及び附属品 等



未来工業株式会社

配線器具 事業

売上比率
17.6%

- ・スイッチ、コンセント 等

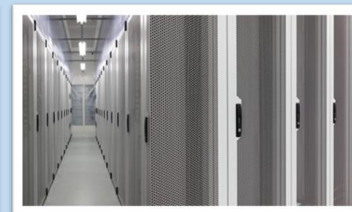


神保電器株式会社 JIMBO

その他の 事業

売上比率
6.4%

- ・省力化機械及び樹脂成形用金型、運送、
建設、樹脂原料、電気通信、ケーブルテレビ 等



提供価値・強み

- ・人手不足が深刻化する建築工事現場の**省力化**に貢献する**アイデア製品**
- ・「他社と同じモノは作らない」、徹底した差別化と付加価値の高いモノづくり
- ・配線ボックス類や電線管類等の**高い市場占有率**を誇る製品群

- ・高い**意匠性**とユーザーニーズを捉えた製品ラインナップ
- ・施工業者の**省力化**を図る現場バックアップ体制
- ・当該分野をリードする**次代の提案**

※2026年3月期

1. 当社グループについて

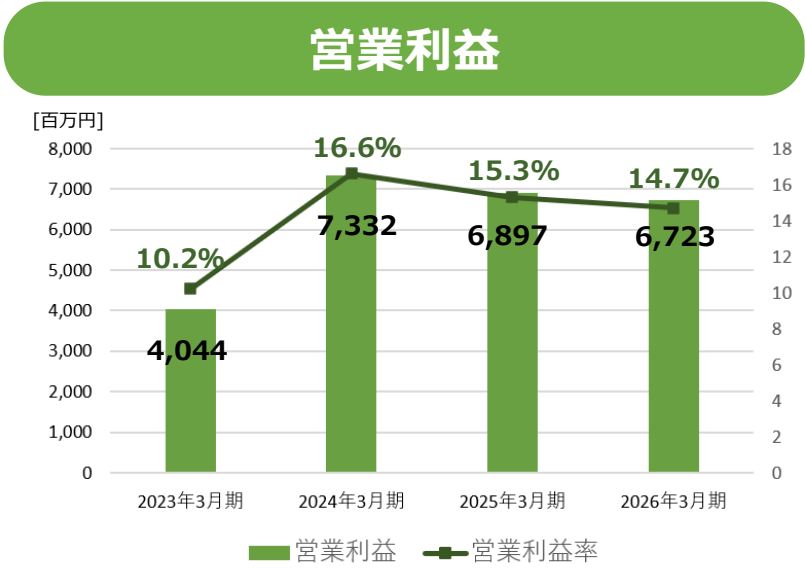
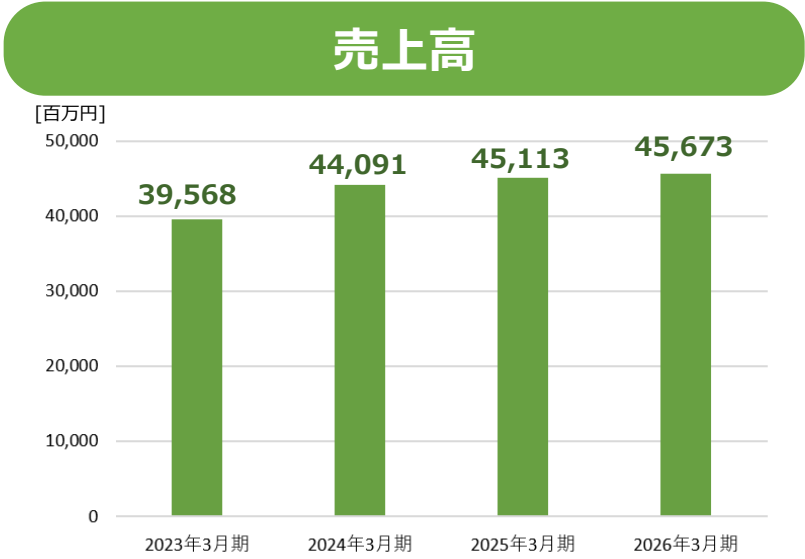
2. 前中期経営計画（2024-2026）の振り返り

3. 中期経営計画2027

4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

業績（グループ連結）

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
(単位：百万円、%)				
売上高	39,568	44,091	45,113	45,673
営業利益	4,044	7,332	6,897	6,723
同率	10.2	16.6	15.3	14.7
経常利益	4,152	7,477	7,067	6,899
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,742	5,116	4,833	4,696



前中期経営計画（2024-2026）の目標と施策

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（企業価値向上に向けた目標と施策）

1. 資本効率向上

- ROE 8 %以上

2. 業績向上

- 連結営業利益率12%以上

3. IR活動強化

- 投資家との対話機会の増加
- 任意開示情報への取り組み
- 英文開示の充実

4. 株主還元策

- 2024年3月期から2026年 3 月期において
配当性向50%または自己資本配当率（DOE）2.5%を目安に配当

前中期経営計画（2024-2026）の取組状況

1.資本効率向上、2.業績向上

継続的な新製品の投入、活発な営業活動、価格改定の浸透等により目標を達成

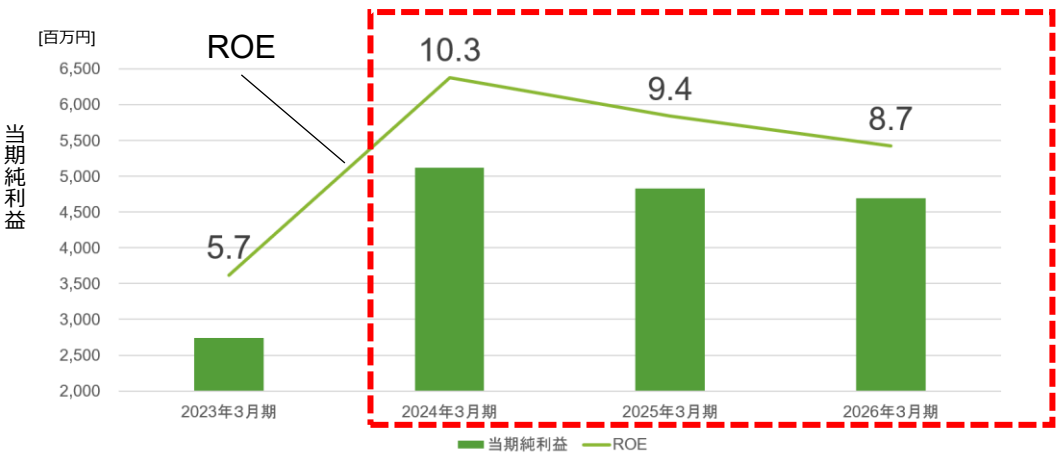
資本効率向上

目標

ROE **8%以上**

成果

2024 : **10.3%**
2025 : **9.4%** を達成
2026 : **8.7%**



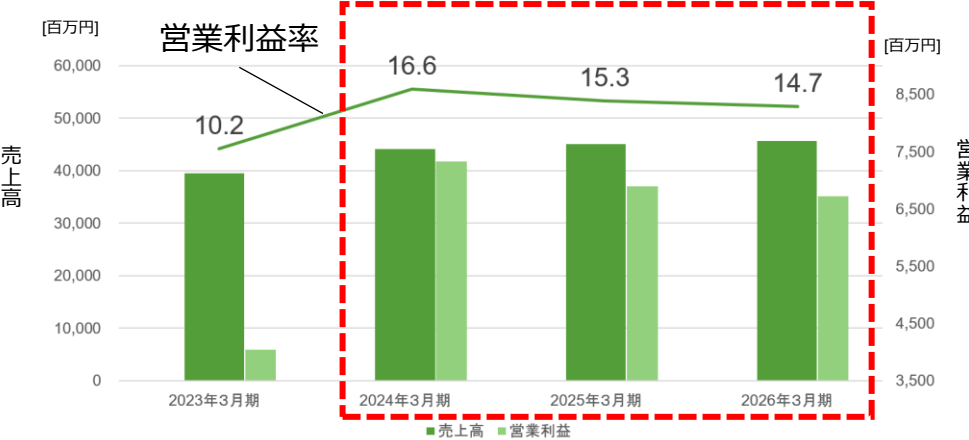
業績向上

目標

連結営業利益率 **12%以上**

成果

2024 : **16.6%**
2025 : **15.3%** を達成
2026 : **14.7%**



前中期経営計画（2024-2026）の取組状況

3.IR活動強化

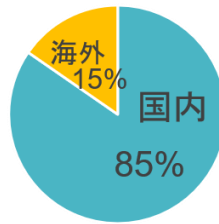
投資家との対話機会の増加

国内機関投資家

- ・個別面談（四半期毎に10～20件）
- ・決算説明会（年2回）

海外機関投資家

面談を行った機関投資家の
国内・海外比率



主な対話テーマ

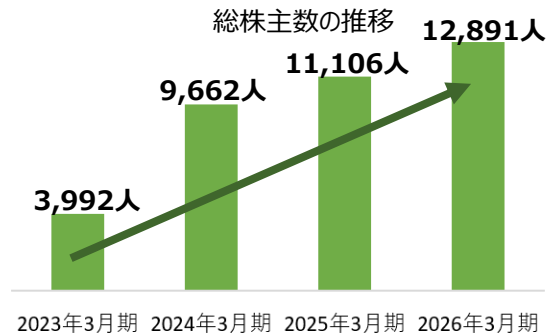
ビジネスモデルや強み、経営戦略、
業界動向、業績及び計画等

対応状況

面談状況や投資家様から得られた
情報を取締役会にて共有

個人投資家

- ・IRイベントへの参加（年1回）



任意開示情報・英文開示への取り組み

①サステナビリティ情報の開示

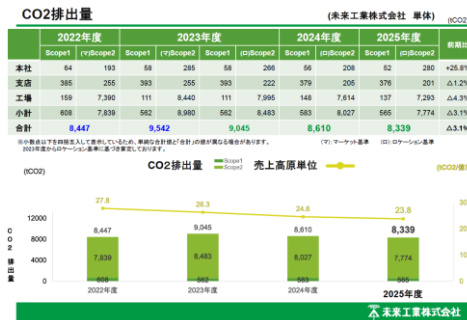
ESGに係る取組状況を当社ホームページで公開
CDP質問書への回答を通じた環境データの開示

②IRサイトのリニューアル

当社ホームページにおいて事業・財務ハイライトなどの
視認性の高いデータを開示

③英文開示の充実

決算情報、株主総会資料等の英文開示を引き続き実施



事業・財務ハイライト

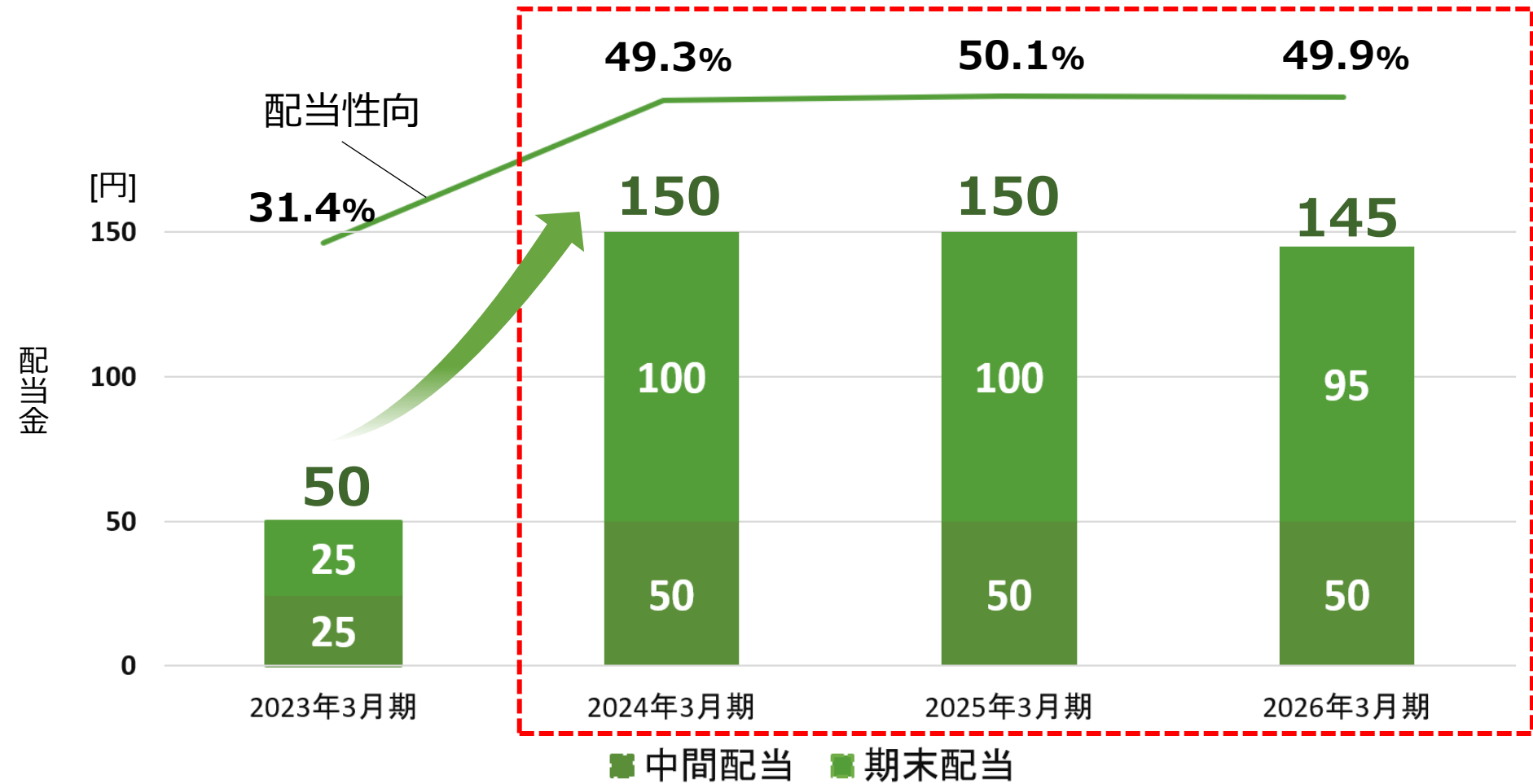


当社HPにおいてサステナビリティの取り組みを掲載しております。是非ご覧ください。 <https://www.mirai.co.jp/company/action/>

前中期経営計画（2024-2026）の取組状況

4.株主還元策

2024年3月期から2026年3月期において、配当性向**50%**を目安に配当を実施



1. 当社グループについて

2. 前中期経営計画（2024-2026）の振り返り

3. 中期経営計画2027

4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

利益計画（グループ連結）

(単位：百万円、%)		2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	2028年3月期 計画	2029年3月期 計画
売上高		45,673	48,530	51,483	52,679
営業利益		6,723	6,232	7,416	7,770
	同率	14.7	12.8	14.4	14.8
経常利益		6,899	6,398	7,557	7,909
親会社株主に帰属する 当期純利益		4,696	4,342	5,063	5,285

利益計画（セグメント別）

(単位：百万円)		2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	2028年3月期 計画	2029年3月期 計画
売上高		45,673	48,530	51,483	52,679
	電材及び管材	34,733	36,468	38,911	39,488
	配線器具	8,037	8,613	8,955	9,324
	その他	2,902	3,448	3,616	3,867
営業利益（調整後計）		6,723	6,232	7,416	7,770
	電材及び管材	5,993	5,107	6,423	6,459
	配線器具	872	943	994	1,136
	その他	711	782	598	774

1. 当社グループについて

2. 前中期経営計画（2024-2026）の振り返り

3. 中期経営計画2027

4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

企業価値向上に向けた目標と施策

目指す姿

企業価値の
最大化

PBR向上

ROE向上
(目標：8%～10%以上)

PER向上
(成長期待の醸成、
株主資本コスト低減)



株主資本コストは**7%**程度と認識（CAPMで算出）

取組方針

1.営業利益率向上
(目標：12%～14%以上)

- 新製品の継続的な市場投入
- 既存製品の見直し 等

2.株主還元策

- 配当性向50%またはDOE3%の
いずれか高い方を目安に配当
(2027年3月期から2029年3月期)

3.IR活動の強化

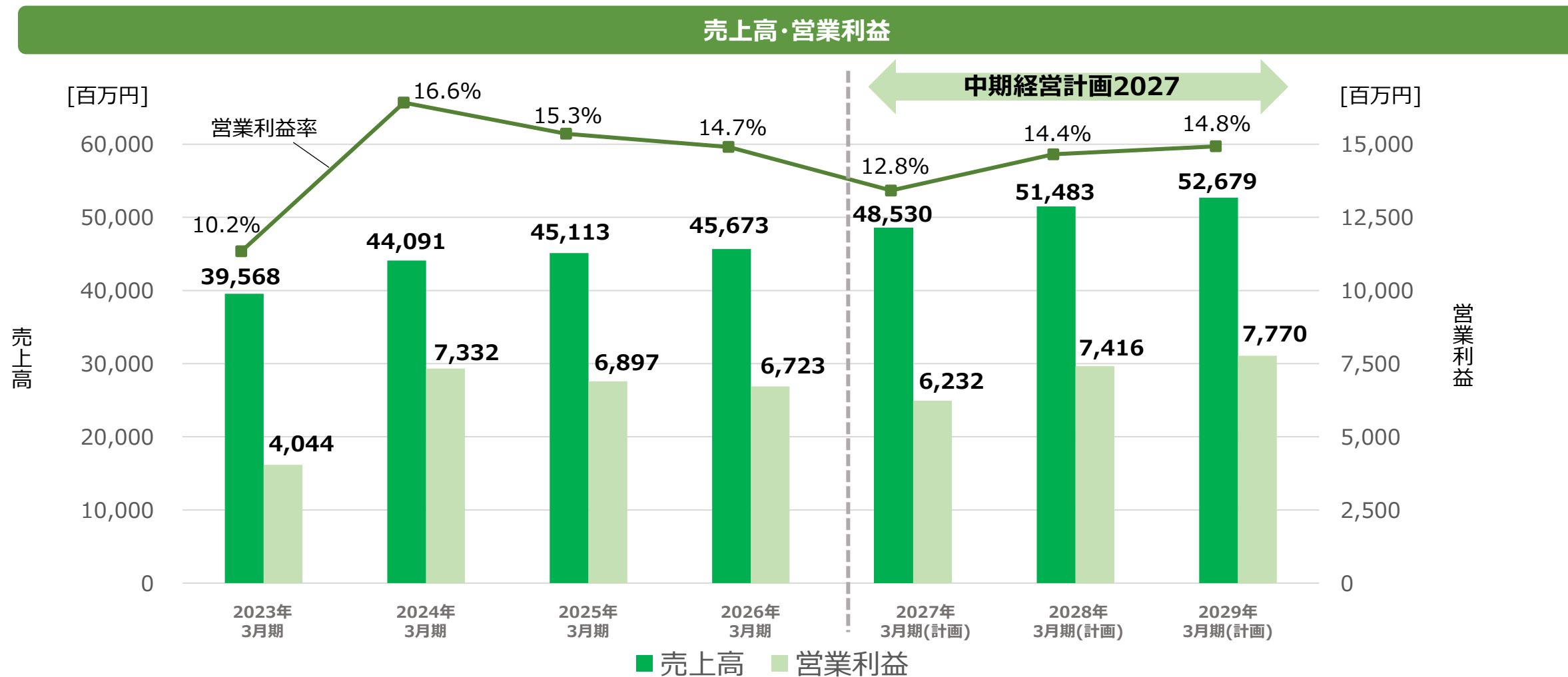
- 任意開示書類の充実
- 株主・投資家との対話機会の充実 等

4.ESG経営の強化

- コーポレートガバナンスの強化
(改訂CGコードへの対応)
- 環境・地域社会への貢献 等

1.営業利益率の向上

事業環境の変化に対応しつつ、継続的に連結営業利益率**12%～14%**以上を目指す

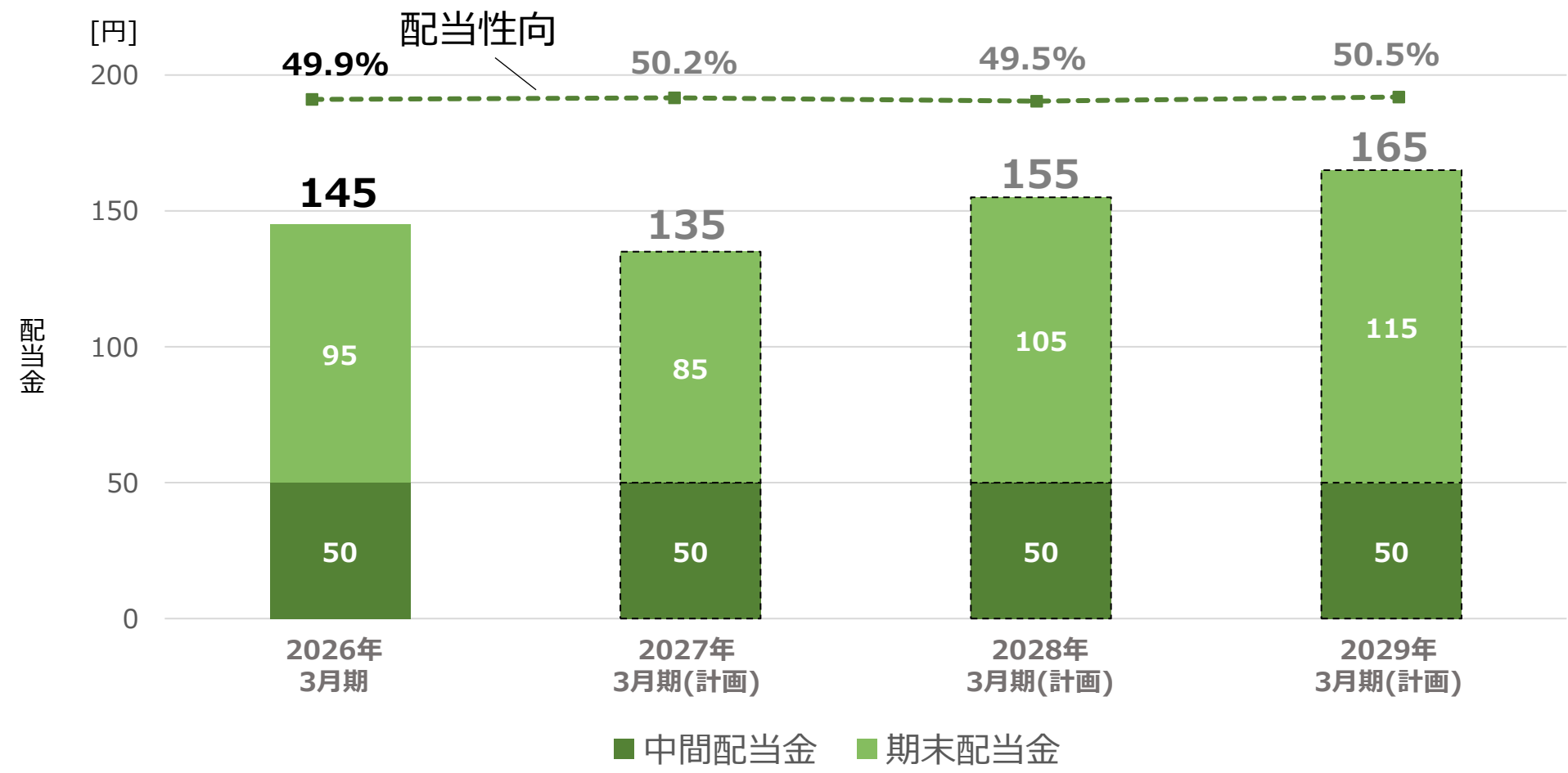


取組方針

新製品の継続的な市場投入、既存製品の見直し

2.株主還元策

2027年3月期から2029年3月期まで
配当性向**50%**またはDOE**3%**のいずれか高い方を目安に配当



3. IR活動の強化、4.ESG経営の強化

IR活動の強化

- ・サステナビリティに関する取り組みや非財務情報を開示
- ・分かりやすいIR説明資料の作成
- ・投資家向け説明会、スモールミーティング、1on1ミーティング等の積極的な実施



ESG経営の強化

- ・改訂CGコードへの対応を含めたガバナンスの強化
- ・CDPへの回答等を通じた環境データの開示
- ・地域社会への貢献活動



メセナ活動（文化・芸術活動への支援）として演劇等に地域住民を無料招待

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づき作成したものです。
実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

未来工業株式会社 総合企画部

電話番号

0584-68-1200